

行政視察等報告書

平成27年10月19日

米子市議会議長様

会派名 信風
代表者氏名 伊藤 ひろえ
提出者氏名 安達 卓是



下記のとおり報告します。

記

項目	<input type="checkbox"/> 現地調査 <input type="checkbox"/> 行政視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 <input checked="" type="checkbox"/> 研修会への参加 <input type="checkbox"/> 会議への参加
参加者	安達 卓是
期日	平成27年10月13日から平成27年10月14日まで
[概要] (年月日・場所・内容)	「公共施設マネジメント集中講座 in 博多」 リファレンス博多駅東ビル（福岡市博多区博多駅東1丁目16-14） 10/13（1日目） 第1講 失敗しない公共マネジメント 第2講 「拡充」から「縮充」へ～機能ベースの施設再編成～ 10/14（2日目） 第3講 指定管理者制度の100%活用手法 第4講 指定管理者制度における評価制度
[所感]	別紙のとおり
経費	旅費総額 99,168円

別紙

地方議員研究会 <公共施設マネジメント集中講座 in 博多>

講師 南 学さん (東洋大学経済学研究科公民連携専攻客員教授)

全講座(1講～4講)の講義

◎第1講 失敗しない公共施設マネジメント

(1) 10月13日(火) 9:30～12:00

(2) 講義内容

講義の支柱

- ◇「時限爆弾」としての公共施設とインフラ ◇財政課題としての公共施設マネジメント
- ◇「施設白書」作成から始めると失敗する? ◇公共施設総合管理計画とは
- ◇公会計改革との結合

公共施設管理上の業務上過失＝事例研究：ふじみ野市大井プールでの児童死亡事故について、財政と施設管理、今後の公共施設の利用需要の変化を見誤らない、施設を長期的視点での把握。

施設分類別資産老朽化比率＝固定資産台帳整備により老朽化比率をとらえ、資産減耗度の明確化。などを教示される。

◎第2講 「拡充」から「縮充」へ ～機能ベースの施設再編成～

(1) 10月13日(火) 13:00～15:30

(2) 講義内容

講義の支柱

- ◇総合施設管理計画の策定について ◇「拡充」の「運営」から、「縮充」への「経営」
- ◇発想転換による機能統合 ◇「行政財産ゼロ」の発想も
- ◇先進例に学ぶ統合、稼働率UP

行政財産の縦割り構造を根本から見直すことの意義。

- ・行政財産⇒行政目的⇒部局の管理⇒縦割り
- ・行政目的⇒条例で使用、料金規定⇒固定化
- ・目的外使用不可⇒変化の対応ができないという市役所経験と実績からの指摘を聞く。

複合施設としての公共施設を捉える。老朽化と財政難への「経営」が試されるという指摘。

◎第3講 指定管理者制度の100%活用手法

(1) 10月14日(水) 9:30～12:00

(2) 講義の内容

講義の支柱

- ◇業務委託と指定管理制度の違いを明確にする ◇コスト削減ばかりに注目すると失敗する
- ◇指定管理者制度と直営の組み合わせも可能 ◇図書館のコスト試算と指定管理

「経費削減の手段」からの脱皮、「リスク分担」から定義する直営、委託と指定管理、コスト感覚による緊張感と責任の明確化＝責任が曖昧な行政による事業執行について指摘される。

◎第4講 指定管理者制度における評価制度

(1)10月14日(火) 13:00~15:30

(2)講義の内容

講義の支柱

◇指定期間設定によって生じた[評価]の重要性◇PDCAサイクルの前に必要なミッションの議論

◇第三者評価で公共施設の管理運営をプロ化する

①期間設定⇒②次はどうする⇒③評価⇒④目的 のサイクルで思考していくことの意義。「役所流」評価のため評価を考え直す。

利用者数と収入で評価する総合体育館、スポーツ施設かイベント施設か、前年対比で評価できるのか

どのように活用したら最終目標なのか、「利益」のない、直接経費と一般管理費?、9か月の指定期間延長を公募で行う?、現場を知らない総務部門が評価、募集権限を持つという指摘を聞く。

図書館のコスト試算の結果、第三者評価制度に対する基本的考え方、実施概要の項目では、評価時期、評価結果の活用、指定管理者自らの業務改善(PDCAサイクルの構築)を指摘。

また、評価シート活用法を聞く。

(所感まとめ)

座学であったが、さまざまな指摘事項については、

米子市の公共施設管理の現状をひもとくヒントを何点か聞くことが出来たような気がする。四講座全体を通して、質疑応答の時間がほとんどなく市議会議員間の意気込みを聞くことに物足りなさはあったが、新しい行政運営(施設管理運営)のための発想・手法の選択肢を学び行政の義務的経費及び事業執行の中での人件費(細かいところでの担当者の時給を抽出するなどの作業が注目されてよい)を見る眼を持つことが出来て有意義であった。